

# みつ いし ふみ たか 三石文隆

議員  
三石文隆  
特集号

高知県議会

## 県政報告

平成30年8月号

速報

〒780-8570 高知市丸ノ内1-2-20 県議会自由民主党控室 TEL 088-823-9522



**産業振興土木委員会  
委員長報告より(抜粋)**

産業振興土木委員会が付託を受けた案件について、その審査の経過並びに結果を御報告いたします。(中略)

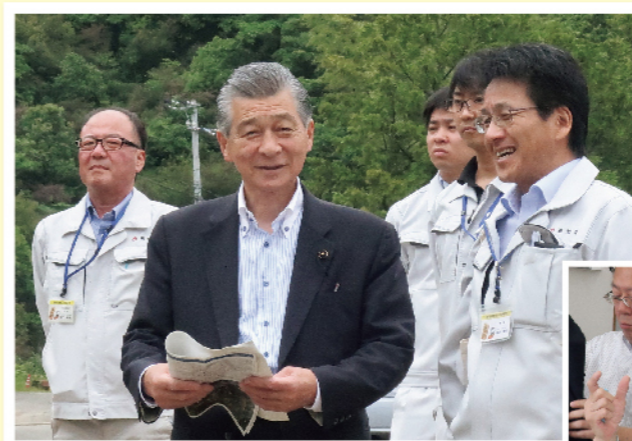
以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

**中部地区への外商拠点の設置について**

執行部から、中部地区における外商活動を強化するため、県内地域商社が名古屋市内に出店する、複合アンテナショップ内の店舗を高知県の外商拠点として位置づけ、当該店舗を活用した外商活動の展開に向けて、初期投資の一部を支援する経費について説明。

■委員 県としては初期投資の補助だけで、それ以降の売上げ状況による赤字補填などは行わない、ということでしょうか。

■執行部 初期投資への補助のみであり、その後のランニングコストの負担は考えておりません。



国道494号社会資本総合交付金(水口トンネル)工事にて



高知土木事務所にて

### みつ いし ふみ たか 三石文隆議員の 活動記録

常任委員会では、本会議で付託を受けた議案や請願などを審査・調査します。  
また、県内出先機関等の業務概要調査も行っています。

常任委員会では  
産業振興土木委員会に  
所属しています



中央東土木事務所にて



国分川地震高潮対策工事(堤防耐震)にて



和食ダム建設工事にて



産学官民連携センターにて



横瀬川ダム建設工事(国土交通省中筋川総合開発工事事務所)にて



都市計画道路安芸中央インター線防災・安全社会資本整備交付金工事にて

#### 三石文隆議員の707フィール

- 昭和29年生まれ。
- 国士館大学法学部を卒業、教師(中学校)になる。
- 平成5年、16年間にわたる教師の職を辞し、政治の道を志す。
- 平成11年4月、高知県議会議員に初当選、現在5期目。
- 高知県議会常任委員会のすべての委員長、高知県監査委員、議会運営委員長等の要職に就く。
- 平成23年5月、第95代高知県議会副議長。
- 平成27年5月、第94代高知県議会議長。



### みつ いし ふみ たか 三石文隆県政事務所

〒780-0966 高知市福井扇町13番27号  
TEL 088-872-0066 FAX 088-872-1113

高知県議会ホームページ

高知県議会 検索 <http://gikai.pref.kochi.lg.jp>

自然・体験型観光の推進について

執行部から、来年2月から開始する自然・体験型観光キャンペーンに向けて、自然・体験型観光資源の磨き上げを通じて、新たな経済効果を生み出す新資源の創出、自然を生かして外貨を稼ぐことができるよう、補助メニューを拡充し、市町村などの取り組みを支援するための経費について説明。



委員会で質問する三石議員

■委員 自然景観等の整備においては、地域の方でないと思われるビュースポットもあると思われ、説明会では、民間事業者だけでなく、地域の声を吸い上げるような運営を行ってほしい。

また、市町村によって温度差があり、取り組みにばらつきも出るかもしれないので、県の計画を正しく理解してもらった

上で進めてもらいたい。

■委員 自然・体験型観光キャンペーンとして、さまざまな取り組みを行っていくとのことであるが、東京オリンピック・パラリンピックを一つの区切りにするのか、それともその後も引き続き行っていくのか。

■執行部 歴史・食・自然が本県の観光の3本柱であると考えています。

執行部から、都市計画道路はりまや町二宮線はりまや工区については、歩行者の安全対策と渋滞の解消は急務であると考へ、工事を再開して、歩道の幅と4車線整備を進めることについて説明。

■委員 四半世紀前の4車線化ありきの道路計画を今やることについて、どう考えているのか。

■執行部 都市計画事業は長期的な視点に立って計画しており、完成には時間がかかります。交通量は、現在も4車線化を必要とする基準を超えており、将来推計でもこの基準交通量を上回るなど、道路の必要性は今なお変わっていないと考えています。

■委員 工事再開に向けての説明はよく理解できた。議論を尽くし、努力をされたと感じる。全員賛成とはいかないが、それもやむを得ないことだと判断している。

■委員 高知市より、子供たちの安心・安全及び南北交通のスムーズな流れのため、早期の整備が必要であり、今回の計画は環境・歴史の面で配慮がなされているとの意見がある。

これまで歴史と食に関して、順次磨き上げを加えながら旅行商品として売り出してきたおり、3つ目の柱である自然を生かすため、県内各地の自然景観や体験型観光資源の磨き上げをより強化し、一過性で終わるのではなく、地力としてしっかりと定着させていくことを目指して取り組んでいきます。

自然・体験型観光キャンペーンはおおむね2年間を想定していますが、その後も、歴史・食・自然を組み合わせながら、県外からの誘客に努めていきたいと考えております。

はりまや町二宮線(はりまや工区)の工事再開について

地元自治体が進めてもらいたいという思いを持っているので、県としても工事再開を目指して取り組んでもらいたい。

とさでん交通の取り組み状況等について

■委員 バス運転手のサービスマナーにばらつきがあるように感じるが、どのように取り組んでいるのか。

■執行部 とさでん交通を設立したときに接遇センターを設置し、大手航空会社のOBをセンター長に招き、接遇の向上に取り組んでおります。

県への苦情の電話もほとんどなくなっております。

■委員 運転手の給与水準が低く、生活面に心配があるとこの声も聞くが、給与の改善はどのような状況か。

■執行部 雇用の確保や優秀な社員の流出を防ぐ観点から、若年層を中心に給与の改善も行っており、とさでん交通も危機感を持って対応してまいります。

次号予告

三石議員質問に立つ

平成30年6月定例会一般質問



知事の政治姿勢について



●人材登用の基本方針と県庁経営の戦略について

●教育長就任に当たっての所信・抱負について

●高知県管理職教員組合の元書記長の組合資金横領事案について

●道徳教育の推進について

●明治150年記念人材育成プランについて

●子ども食堂の取り組みについて

●学校における働き方改革について

●国旗・国歌について

■三石議員 尾崎県政における人材登用の基本方針や、ポストごとに職員が手腕を十分に発揮し、やる気と活気に満ちた組織の構築に向けた県庁経営の戦略について聞く。

■尾崎知事 人材登用の基本方針として、それぞれの職員の長所をしっかりと見た上で、それぞれの長所を組み合わせることにより、各所属が良きチーム、強いチームとなるよう、人材の配置をすることが肝要であると考えています。

また、県庁の経営戦略として、第一に、各政策分野において職員に明確な目標を示すこと、第二に、職員にその意義を説くこと、第三に目標実現に向けたアプローチの仕方を明示し、やればできるのだと示すことが重要と考えています。

そうすることで、私と職員が具体的な施策の目標と、目標達成に至るプロセスを共有し、PDCAサイクルを働かせ、県勢浮揚への手応えを実感し、達成感を分かち合える組織の気風をつくれるように心がけてまいります。

その他の質問及び答弁は次号にてご紹介いたします。